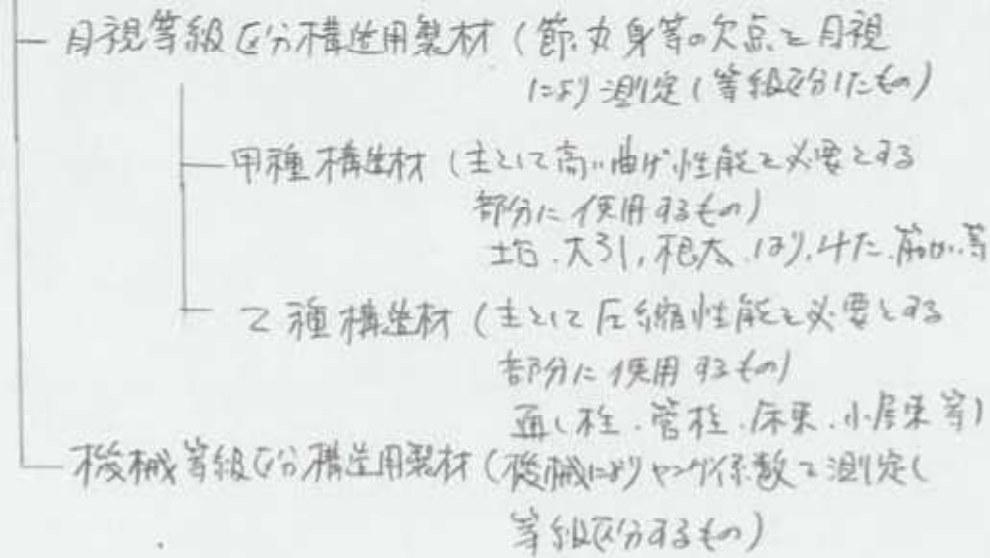


1. 目視等級区分構造用製材について

・構造用製材 (建築物の構造耐力上主要な部分に使用される)

針葉樹の製材



2. 針葉材について

- ・松、ヒノキ、杉、サウロなどの針葉系のように細く尖った葉を持つ樹木
- ・軽く柔らかく扱える
- ・幹はまろく伸びる
- ・構造材に多用されている

広葉樹

- ・クヌギ、ナラ、カシなどの平たい面積のある葉を持つ樹木
- ・重くて硬い
- ・幹は太くて曲がっている
- ・家具や床材などに使われる

3. 木材の基準強度について



(例)

このとき甲種一級 基準強度 (N/cm^2)	曲げ	圧縮	引張	せん断
	38.4	30.6	22.8	2.1

4. 気乾比重と強度

↓ \rightarrow 気乾比重が大きいほど、強度やヤング係数は大きい

気乾状態: 大気中の湿度と平衡を保つ状態
含水率 15%

繊維飽和点: 細胞壁内にある結合水と、細胞壁と細胞壁の間にある自由水のうち、自由水が完全に消失したときの含水率
30%程度

比重: 同体積あたりの質量の比 (密度の比)